

1 基本構想中間報告会について

(1) 目的

各作業部会から報告される政策（＝都市像）を全市的な視点から議論する

(2) 成果

基本構想を形成する政策の枠組み（体系）など、課題の共通認識

(3) 議論を進める上での論点整理

<全般的なこと>

- ・ 都市像（施策の大綱）の枠組み（範囲）の再構築など抜本的な議論を誘発する問題提起（計画全体をとおして総合的な視点でみたバランス）

<都市像>

- ・ 平成32年度にめざす都市像を分かりやすく表現できているか
- ・ 市民にとって分かりやすい政策（枠組み・範囲・テーマ）となっているか

<基本目標>

- ・ 「都市像」と「基本目標」が目的と手段の関係となっているか
- ・ 基本目標の範囲、規模が極端になっているなど、総体的に見てアンバランスになっていないか

<その他>

- ・ 「都市像」、「基本目標」、「主な取組み」「指標」について、<目的と手段><「目標」と「達成度」>など、中間報告全体について、つながりや関係性を説明できるものになっているか

2 基本構想中間報告会までの取組

5/29 策定委員会において、各作業部会での議論の進め方について報告

6/1 作業部会部会長・副部会長会議を開催し、作業部会のあり方や議論の進め方を通知

6/5～ 各作業部会において、基本構想中間報告に向けた議論の進め方や報告イメージを説明したうえで、中間報告に向けた議論を進める

STEP1 SWOT分析の手法を用い、各施策の強み・弱みを検討し、今後の方向付けを行った（～6月末） 《参考資料1》

STEP2 **STEP1**で実施した各施策の今後の方向付けを基に、都市像（現計画でいう施策大綱）及び基本目標の検討を行い、中間報告シートの作成を行った（～7/20）
《参考資料2》

7/23 作業部会全体会において全作業部会の検討結果の発表を行い、「作業部会間のバランスの調整」、「複数の作業部会に関連する課題の把握」を行った

<中間報告会までの取組における事務局の基本的なスタンス>

- 【1】 各作業部会が主体的に総合計画策定に向けて取組を進める
- 【2】 これまでの計画に捉われず、抜本的な見直しを進める